

経営比較分析表（令和6年度決算）

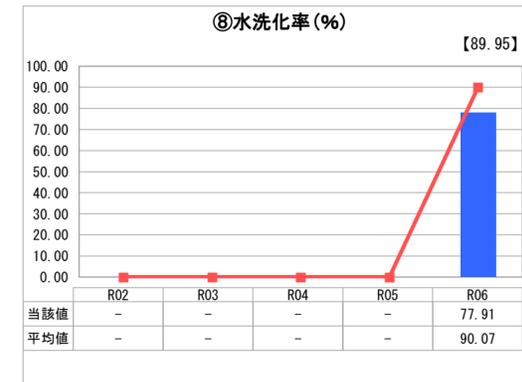
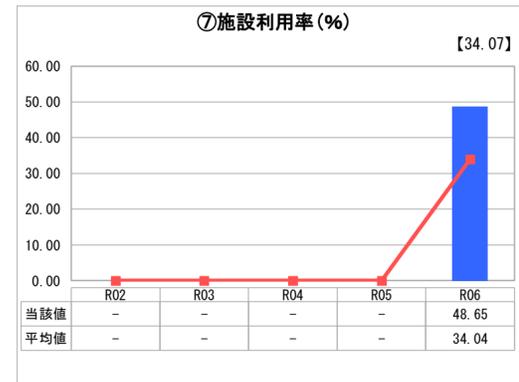
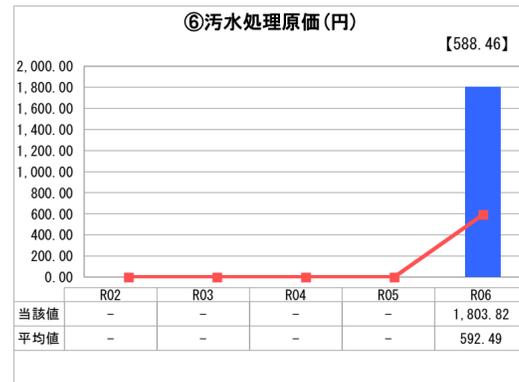
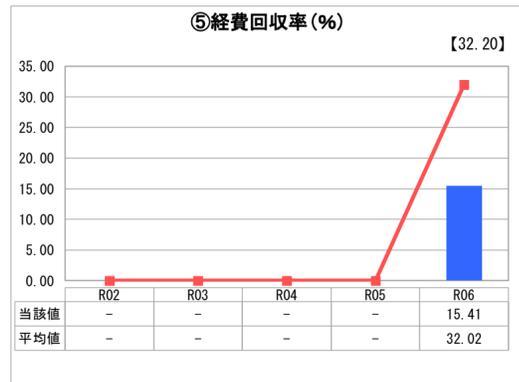
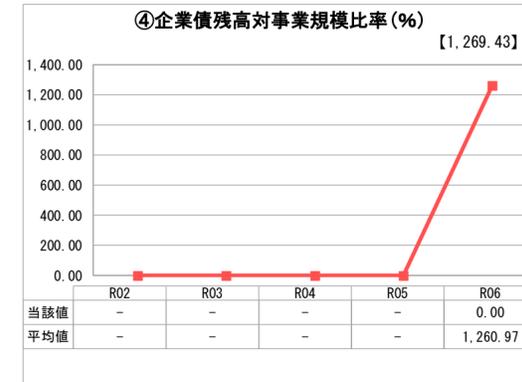
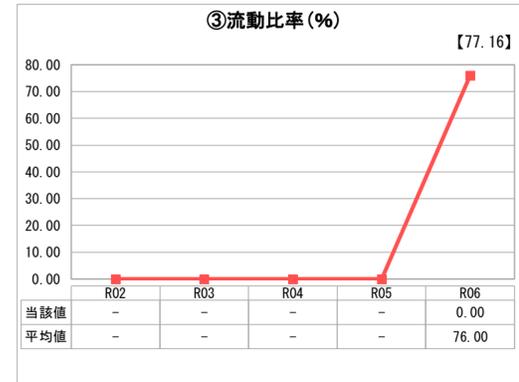
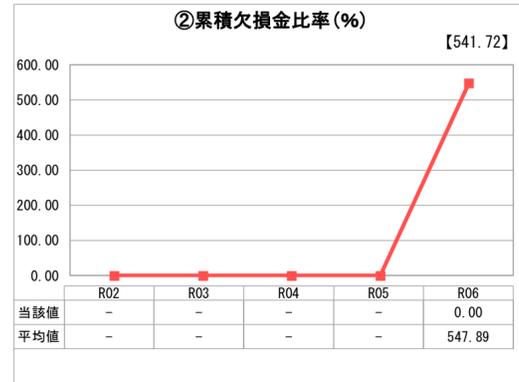
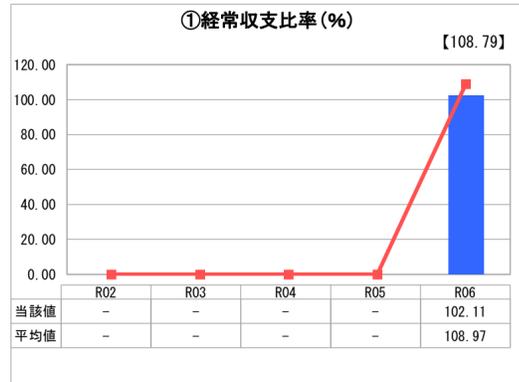
岐阜県 白川村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	I2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	90.72	5.92	100.00	2,627

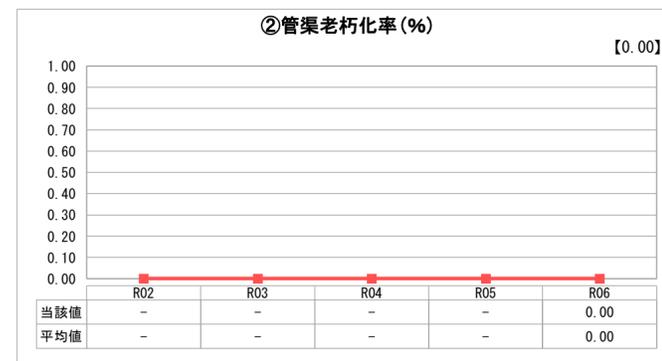
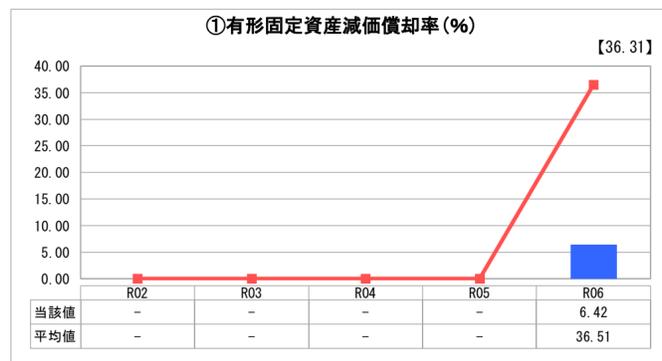
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,470	356.64	4.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
86	0.01	8,600.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②経常収支比率は100%を超えているが、一般会計からの繰入金に依存しているため流動比率が0%となっている。
 ⑤⑥経費回収率が類似団体平均と比較極めて低い数値となっている。これは汚水処理原価が平均の約4倍となっていることが主因となっている。
 ⑦施設利用率は平均より高く効率的な運用ができている。
 ⑧水洗化率は77%と低水準であるため引き続き下水道へ接続していない世帯への普及活動に取り組む。

2. 老朽化の状況について

公営企業会計移行の影響で減価償却率、管渠老朽化率が極めて低い数値となっているが、実態は老朽化が進行しているため引き続き管渠改善率の増加に務める。

全体総括

法適化1年目であり、一般会計からの繰入金により、経常収支比率は102%と良好な収支均衡を図っている。一方、汚水処理原価は平均を大幅に上回っており、集落が点在する地域特性から経費回収率は15%に留まっている。
 施設利用率は48%と類似団体を大きく上回っているが、水洗化率は77%と平均を下回る。引き続き接続促進を円滑に進め、既存施設を有効かつ効率的に活用していく。
 会計上の減価償却率と施設老朽化の実態の乖離に留意しつつ、今後は可視化された高い処理原価の低減が課題となる。水洗化率を改善しながら、維持管理の効率化をさらに推進し、一般会計への依存度を抑制しつつ、将来の施設更新を見据えた持続可能な経営戦略の構築に務める。また、今後も人口減少による料金収入が減少してくることが考えられるため料金改定などの必要性を検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。